

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 フォローアップ報告書
青山地区

平成26年6月

岩手県盛岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	施設利用者数	人/年	400	1,200	17,085	確定 見込み ●	○	あり なし	19,433	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	イベントの開催や各棟の団体利用者の増により、大幅な利用者の増加につながった。
指標2	イベント開催数	回/年	3	8	20	確定 見込み ●	○	あり なし	26	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	赤レンガまつり等自主イベントにも力を入れ、回数の増加につながった。
指標3	施設利用満足度	%	43.86	60	62.83	確定 ● 見込み	○	あり なし	62.83	H25年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当該施設を使っている方のつながりで利用者数が増えている。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	施設全体を「地域の交流拠点」として計画	青山地区まちづくり協議会を中心とし、地域と一体での「青山さくらまつり」・「赤レンガまつり」「青山雪まつり」の開催。	地域の方、隣接の幼稚園、小中学校の生徒との交流ができた。	
	運動のほか集会やイベント等、多様な「多目的ホール」として計画	彫刻シンポジウムやコスプレなど多彩なイベントを受入れ	来場者の増加につながり、施設の存在をアピールできた。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	建物を保存した意義とソフト面の活用	この土地及び建物の歴史の写真の展示	覆馬場として建てられていたことの認知及び青山地区の成立ちを知ってもらえた。	
	・他施設との連携を持った活用 ・スポーツ種別の拡大 新規利用者の増 ・平日の日中の活用促進	・青山さくらまつりのように、隣接病院との連携によるイベントの開催 ・ホームページによる空き状況の発信。	利用者からの空き時間の確認電話が減少。	
	イベント時の駐車場の確保	付近の商店等の連携	駐車場の確保ができた。	近くに停めたい気持ちから、路上駐車があることから、解消を図ること。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項